

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業(花コンサート)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		高津区役所まちづくり推進部地域振興課		川田	861-3133(内64355)	

事業の概要									
事業の概要		<p>【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】 プロなどの音楽家によるコンサートを気軽に楽しめる機会として、区役所等のロビーを活用したコンサートを開催し、本格的なホールでの音楽鑑賞の機会として、高津市民館大ホールでのコンサートを開催する。また、これらコンサート開催に向けた企画運営を行う。</p>							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成16年度	—						
地域の課題と現状		<p>【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。</p>							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	909	908	891	808				
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	909	908	891	808				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。</li> <li>●音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。</li> <li>●音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロなどの音楽家によるコンサートを区役所1階ロビー等にて行う(花コンサート、年10回)</li> <li>●通常のコンサートに来られない方への音楽鑑賞機会の提供(大きな花コンサート、年1回)</li> <li>●新たな客層への音楽鑑賞機会の検討等</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロなどの音楽家によるコンサートを区役所1階ロビー等にて行う(花コンサート、年8回実施、新型コロナの影響で2回中止)</li> <li>●通常のコンサートに来られない方への音楽鑑賞機会の提供(大きな花コンサート、年1回)</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	大きな花コンサート来場者数	目標	700	700				人
				実績	663	662				
	2	成果指標	花コンサート in KSP 来場者数	目標	500	500				人
				実績	300	中止				
3	成果指標	大きな花コンサート開催回数	目標	1	1				回	
			実績	1	1					
4	成果指標	花コンサート開催回数	目標	10	10				回	
			実績	10	8					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内にある多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供し、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。そのための一環として、区役所等公共施設において、コンサートを実施する。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		対象が区役所に集まる区民ということから来場者層が固定化傾向にあった。ビジネスマンや地域の方など新たな来場者層を取り込むために、平成27年度からかながわサイエンスパーク(KSP)での開催を実施している。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の音楽文化の振興という意味で役割を果たしていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各回とも200人前後の来場者があり、市民から一定の評価を得ていると考えている。また、大きな花コンサートの来場者数も定員の9割以上の来場があり、成果は順調に上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現状の予算でも厳しい状況ではある。事務については、委員で分担できないか検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 平日の屋間のコンサートで来場者の固定化が懸念されるため、KSPのような様々な来場者層が見込める施設での開催や開催時間を変更するなど工夫しながら、より多くの区民にゆとりと安らぎの時間を提供していく。出演者と意見交換するなどして、曲目などコンサートの内容がマンネリ化しないよう検証・見直しをしながらの継続を目指していく。		

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業(高津区民音楽祭)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		川田	64355	

事業の概要										
<b>事業の概要</b>		<p>【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との共同により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】 高津区民音楽祭に向けた企画・運営を行い、運営委員会や参加グループミーティングを通じて参加する市民音楽グループ同士の交流を図り、企画や準備段階から携わる参加型の高津区民音楽祭を開催する。</p>								
<b>実施期間</b>		事業開始年度 平成2年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業		
<b>地域の課題と現状</b>		<p>【音楽事業共通】 区内の多様な音楽事業を活用し、個性の魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。</p> <p>また、市民協働で取組む事で、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。</p>								
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額		決算額		予算額		決算額		
		1,145		1,145		1,200		1,197		
		1,145		1,145		1,200		1,197		
<b>財源内訳</b>	国庫支出金									
	市債									
	その他特材									
	一般財源									

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統に育まれたまち・高津の音楽文化の発展を図ることを目的とする。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	音楽に造詣の深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画運営や準備に携わる参加型音楽イベントを中心とした高津区民音楽祭を開催する。

実施結果 (Do)												
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3	<p>1. 目標を大きく上回って達成      4. 目標を下回った</p> <p>2. 目標を上回って達成            5. 目標を大きく下回った</p> <p>3. ほぼ目標どおり</p>									
<b>取組内容の実績等</b>		<p>会場①: 川崎市民プラザ屋内広場 11月23日(土)14時30分~17時15分 ●参加グループ:8 ●来場者:約250人</p> <p>会場②: 高津市民館大ホール</p> <p>12月7日(土)13時30分~18時15分 ●参加グループ:14 ●特別企画:1 ●来場者:約880人</p> <p>12月8日(日)14時~18時00分 ●参加グループ:17 ●来場者:約920人</p>										
<b>数値で把握することが可能な取組</b>		<b>指標分類</b>		<b>指標</b>				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
		1	成果指標	区民音楽祭参加申込団対数	目標	28		28				団体
					実績	38		39				
		2	成果指標	区民音楽祭来場者数	目標	1,200		1,200				人
実績	2,100				2,050							
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		区内の多様な音楽事業を活用し、個性の魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 27年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		自分たちの活動の場として参加するグループが多いため、ゲスト枠を廃止し、参加団体、来場者皆で歌えるコーナーを作った。	
評価項目		評価	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	参加団体数は増加傾向であることや多くの来場者があることからニーズは高いと思われる。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加団体及び来場者アンケートで満足と回答した人は8割を超えている。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	参加団体の役割分担や広報の協力など改善を進めていく。	

改善 (Action)		
<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b> 今年度の参加団体は過去最多となり、年々、増加傾向にある。参加団体が多いことで、様々なジャンルの音楽を聴くことができ来場者にも好評ではあるが、参加団体の増加に伴い、終了時間も遅くなっていることから、当日運営を工夫しながら事業を実施する。		

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(子どもの音楽文化体験)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		高津区役所まちづくり推進部地域振興課		祝田	861-3133(内64355)	

事業の概要										
事業の概要		<p>【音楽事業共通】                  区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。                  【内容】                  子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること、これにより音楽文化を生み出す心を育むことを目的に、音楽鑑賞体験及び演奏体験ワークショップ等を実施する。</p>								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費				
		H18	—							
地域の課題と現状		<p>【音楽事業共通】                  区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。</p>								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	1,651	1,651	1,693	1,632				
		財源内訳								
		国庫支出金								
		市債								
その他特財	400	400	400	342						
一般財源	1,251	1,251	1,293	1,290						

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。</li> <li>保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。</li> <li>区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場所での音楽体験:こども文化センター等への演奏者派遣 1回×7ヶ所</li> <li>家族単位による音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待 1回</li> <li>ホールでの音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催 1回(2回公演)</li> <li>演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験 1回(練習3回+発表)</li> <li>音楽体験を通じた子どもの情操教育:未就学児を対象としたリトミック体験 1回</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場所での音楽体験:こども文化センター等への演奏者派遣 1回×7ヶ所</li> <li>家族単位による音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待 2回</li> <li>ホールでの音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催 1回(1日2回公演)</li> <li>演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験 1回(練習3回+発表)</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
		1 成果指標	オペラ公演「泣いた赤鬼」来場者	目標	1,000	1,000			人
				実績	892	787			
		2 成果指標	こども文化センター等への演奏者派遣	目標	7	7			回
				実績	7	7			
3 成果指標	小学生を対象とした打楽器演奏体験	目標	1	1			回		
		実績	1	1					
4 成果指標	未就学児を対象としたリトミック体験	目標	1	1			回		
		実績	1	中止					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代が増加傾向にある中、個性と魅力にあふれ愛着が持てるまちづくりを推進するための一つの方法として、区内の多様な音楽資源の活用し、子どもたちに本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに地域の音楽文化の振興を図る必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		平成27年度より、未就学児を対象に親子リトミック体験会を実施している。 平成28年度より、年齢層に合わせて4クラスを実施している。	
		評価項目	評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各種親子向けのイベントでは多くの来場者を得ていることから依然としてニーズは高いと思われる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	打楽器演奏体験では定員を超える応募があるなど、成果は上がってきている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業内容の変更及び事務については委員と役割分担等について、検討する余地がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後も各イベントごとに、来場者アンケートによるニーズ調査を実施し、費用対効果の検証・見直しをしながら、事業全体でよりよい形を目指していく。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(高津クラシックコンサート)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671750		生涯学習支援課			武田	814-7603

事業の概要									
事業の概要		<p>【音楽事業共通】                  区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】                  高津市民館ホールで、プロの音楽家と地域で活動しているアマチュア演奏家で構成するウインドオーケストラによるコンサートを開催し、区民が身近な地域で良質なクラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供する。</p>							
実施期間		事業開始年度 平成26年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業費	
地域の課題と現状		<p>【音楽事業共通】                  区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通じて区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサートを開催している。</p>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	440	427	440	199				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	440	18	440	199				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。</li> <li>●区民が安らぎを享受し、高津区で暮らす喜びや新たな発見を持ってもらうこと。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	●プロの音楽家や地域で活動しているアマチュア音楽家の出演による本格的なクラシックコンサートを開催

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		3月8日に実施の予定で実行委員会と共に開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス拡散防止対策のため中止となった。チケットは販売済みであったため、還付の処理を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	コンサートの実施(参加人数)	目標	430	440			人	
				実績	401	0				
	2	成果指標	コンサートの実施(満足度)	目標	80	80			%	
				実績	78	0				
	3	成果指標	チケット売上(導入館)	目標	320	350			千円	
実績				409	0					
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		多くの方に観覧いただく事業であるため、今回の新型コロナウイルス感染拡大の危険性があるような事態がある場合、開催が不可能である。状況に応じた対応が必要である。		
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		チケット代金の見直し(当日券と前売り券の料金同額化)。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		身近で良質な音楽を提供することで、安定した参加者も得ているため、今後も必要と考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		毎年安定した参加者を得ていることから、順調と考えている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		実行委員会と検討を行い、事業の進行等について改善の余地がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	「高津区音楽のまち推進事業」を進めるうえで、事業全体の効果的な実施とPRIについて、関係部署等と調整を行い、事業を実施していく。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(サロンDEコンサート)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		伊藤	814-7603	

事業の概要										
事業の概要		<p>【音楽事業共通】                  区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】                  市民が企画・運営に関わり、手作りのコンサートを開催する。主に地域の人材・団体出演を依頼し、談話コーナーを活用した申込不要のサロンDEコンサート、子どもとその保護者を対象とするおやこDEコンサート、大ホールを利用したホールDEコンサートを開催する。</p>								
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業費		
地域の課題と現状		<p>【音楽事業共通】                  区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。</p>								
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		354	354	354	354					
財源内訳	国庫支出金									
	市債									
	その他特財									
	一般財源	354	354	354	354					

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民共通の財産である公共施設を、音楽を通じてより身近に感じてもらうこと。</li> <li>音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。</li> <li>音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンDEコンサート: 高津市民館談話コーナーでの月1回(6月~12月)のミニコンサート</li> <li>ホールDEコンサート: サロンDEコンサート出演者等による年1回のジョイントコンサート</li> <li>おやこDEコンサート: 親子で楽しめる年2回のコンサート</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンDEコンサート: 6/16(日)~12/15(日)12:10~12:45(全7回) 高津市民館談話コーナー                      出演: 宮内中学校吹奏楽部ほか</li> <li>ホールDEコンサート: 1/12(日) 高津市民館ホール                      出演: サロンDEコンサート出演者等5組</li> <li>おやこDEコンサート: 12/5(木)、2/2(日)(全2回) 高津市民館大会議室</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1 成果指標	サロンDEコンサート(参加人数)		目標 550 実績 589	550 559			人	
	2 成果指標	おやこDEコンサート(参加人数)		目標 550 実績 286	400 388			人	
	3 成果指標	ホールDEコンサート(参加人数)		目標 500 実績 348	500 245			人	
	4 成果指標	各コンサートの実施(満足度)		目標 80 実績 96	80 95			%	

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区を中心とした活動を行っている音楽関係の活動のお披露目の場として、また、身近な施設で気軽に多様なジャンルの音楽に触れる機会を提供することができるため、継続して実施していくことが望ましいと考える。							
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 28 年度		□ 今後実施( 年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		おやこDEコンサートの実施時期や時間帯の見直し等。							
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている		a		
	評価の理由		サロンDEコンサート、おやこDEコンサート、ホールDEコンサートとも安定して集客しており、音楽の提供に対して、必要とされていると考える。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない		a		
	評価の理由		決まった月や時期などに実施しているため、安定した集客状況を見ると、地域で必要とされていると考えられ、地域で音楽活動をされている方々のお披露目の場として、地域の音楽に触れる機会の場として根付いている。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか				a. 可能性はない b. 可能性はある		b		
	評価の理由		実行委員会と協働で事業を進めるうえで、手法や開催方法など改善の余地がある。						

改善 (Action)									
今後の事業の方向性	方向性区分			方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性				
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了			I	「高津区音楽のまち推進事業」を進めるうえで、事業全体の効果的な実施とPRについて、関係部署等と調整を行い、事業を実施していく。				

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課(橋地区担当)		中里	788-1531	

事業の概要									
事業の概要		<p>【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】 プラザ橋にて、小さい子どもからシニアまで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年4回(実施3日)開催。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に、気軽に集い、歌を通して交流が図れる場を提供する。</p>							
実施期間		事業開始年度 平成25年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		<p>【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。</p>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		290	290	290	236		
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	290	290	290	236				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。</li> <li>音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。</li> <li>音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<p>プラザ橋にて、子どもからシニアの方までが楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3日(実施4回)開催する。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に気軽に集い、歌を通じた交流が図れる場を提供する。</p>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		<ol style="list-style-type: none"> <li>目標を大きく上回って達成</li> <li>目標を上回って達成</li> <li>ほぼ目標どおり</li> <li>目標を下回った</li> <li>目標を大きく下回った</li> </ol>					
取組内容の実績等		<p>「たちばなファミリーコンサート」は2日(3回実施)開催。幅広い世代の参加得て平均で100名以上の参加。 「おはよう！歌の広場」は年9回実施し、リピート率も高く、参加者の交流が図れる場の提供が出来た。 両方とも3月に予定していた開催(1回)が新型コロナウイルス感染症対策のため実施出来なかったため、参加人数では今年度目標・昨年度実績を下回った。</p>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	たちばなファミリーコンサート・年3日(実施4回)の開催(合計参加人数)	目標	450	450			人
				実績	459	302			
	2	成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(合計参加人数)	目標	1,200	1,200			人
				実績	1,301	1,030			
3	成果指標	たちばなファミリーコンサート・年3日(実施4回)の開催(満足度)	目標	80	80			%	
			実績	77	83				
4	成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(ニーズの調査)	目標	80	80			%	
			実績	98	98				

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		開発による転居者の増加とコンサートへの期待。							
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		夏に実施している洗足学園大学のコンサートについて、午前・午後と1時間行い、対象を0歳から(午前)と小学生以上(午後)にすることで、演奏曲を変えて参加者に満足してもらえるように実施した。また、午前の部は、0歳からの対象としたので少し演奏時間を短縮し、小さい子どもが飽きないように配慮した。							
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない		a		
	評価の理由				橋地区にはコンサートホールなど音楽施設がほとんどないため、身近な場所で本格的な音楽を聴いたり、歌ったりすることのできる事業の実施のニーズは薄れていない。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている		a		
	評価の理由				ファミリーコンサートは、地域の方へ定着してきておりファミリー層の参加も多くなってきた。おはよう！歌の広場では参加者が積極的に片付け行ったり、参加者同士が声を掛け合って参加してたりと交流の場になっている。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない		b		
	評価の理由				夏の回は、午後の部の参加者がすくすくないので、回数や実施方法を検討して経費削減にも繋げられる可能性がある。				

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	ファミリーコンサートは、夏の回の午後は気温のためか参加者が午前中に比べて少ないことから実施方法などを実行委員とも検討しながら継続し、演奏者も出来るだけ地域の音楽団体などを招き、幅広い世代の方が楽しめるコンサートとして引き続き実施する。 おはよう！歌の広場はリピート率の高さを活かし、引き続きシニア世代の交流の場としても継続して実施する。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	10	高津区子どもフェア事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			伊藤	64352

事業の概要									
事業の概要		区内の主要な地域資源である多摩川の河川敷を会場とし、残された豊かな自然環境を利用した催しを提供する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成4年	—						
地域の課題と現状		都市化が進み、子どもたちが地域の自然とふれあいながら遊べる機会が減るなか、自然とふれあう場を提供する。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	650	650	650	650				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	650	650	650	650				

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちに、自然に恵まれた多摩川で多くの仲間との遊びや創作活動を通じて河川愛護、自然環境を守る大切さを理解させるとともに、仲間作りや子ども同士の触れ合いのなかで子どもの健全育成を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、運営委員会を主体に催しを企画・運営する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		高津区子どもフェア運営委員会に委託し、8月25日(日)に実施した。「どろ船レース」、「うなぎ・ドジョウ・あゆのつかみ取り」等を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	子どもフェア参加人数	目標	1,500	1,500			人
				実績	1,500	1,500			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		都市化や地域コミュニティの希薄化等が進む中、地域の自然との触れ合い、子ども達の仲間づくり、地域社会への関心を高めることが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市化や地域コミュニティの希薄化により、子ども達が地域の自然と触れ合い、地域社会の関心を高める機会を提供する意義は大きい。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多摩川の自然環境で地域の活動団体と協働で実施した事業は、子どもの健全育成、地域に対する理解促進、連帯性の醸成、活性化に効果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	より効果的・効果的な執行方法を検討しながら、事業内容等の改善を進める。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 都市化や地域コミュニティの希薄化が進む中、多摩川などの自然や地域社会への理解・愛着を深めることは大切である。地域団体と協力し、事業の執行方法等を工夫・改善しながら、世代間交流や地域の自然・社会環境の理解促進を図る機会を、引き続き提供する。	

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	15	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		仁	64355	

事業の概要									
事業の概要		推進方針を推進するための5つの行動計画を展開実施する。 ● 農業者と区民が協働し、食と農の地域資源を発見 ● 地産地消と子どもの食育を結び、次世代に伝える。 ● 市民パワーによる地域資源の活性化、ネットワーク化の推進 ● 食と農の交流拠点の場の展開 ● 戦略的広報の実施							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		平成21年度		—					
地域の課題と現状		現在、食に関する「地産地消」「食」について考える「食育」など、社会全体で注目が集まっており、「食」の基盤となる「農」への関心も高まっている。そのような社会ニーズを踏まえ、高津区の橋地区における「農」の地域資源を活用しながら、地元への愛着や誇りを育み、「食」と「農」を活かしたまちづくりの推進が求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,400	1,338	1,400	1,133				
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	1,400	1,338	1,400	1,133				

計画 (Plan)	
事業の目的	橋地区における地域資源(都市農業、歴史的資源、緑地、各種活動等)を活用した地域活性化
今年度の事業の取組内容	●「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催(年3回) ●たちばな地区の魅力発信するファーマーズマーケット「高津さんの市」の久本薬医門公園を活用した定期開催と、区内各所での「出張さんの市」の開催等 ●SNSを活用した情報発信の推進

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・「高津さんの市」開催 4/21、6/16、8/18、10/20(中止)、12/16、2/17 ・出張「高津さんの市」開催 5/5、5/19、7/14、7/24、11/2、2/23 ・推進会議開催 4/13、8/31、2/19 ・農体験の開催 7/7、8/1 ・SNSを活用したフォトコンテスト実施									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位		
	1	活動指標	「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催	目標	3	3			回	
				実績	3	3				
	2	活動指標	「高津さんの市」の開催	目標	8	8			回	
				実績	15	11				
3	活動指標	農体験の開催	目標	2	2			回		
			実績	2	2					
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	昨今、都市農業への注目が高まるなか、農のあるまちづくりの重要性も高まっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和 元 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	これまで風景写真展として実施していたが、写真の応募数減少、応募者の固定化という状況であったことから、募集テーマを風景に限定せず、区内の歴史スポットやイベントなどに拡大。また、投稿方法もSNS(Instagram)を追加するなどの見直しを行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	「食」の基盤となる「農」への関心の都市農業への注目が高まっており、事業に対するニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	直売の魅力や地産地消の社会ニーズを踏まえ、「高津さんの市」開催機会増加により認知度も向上していることから、成果は上がっていると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	イベントの企画等、推進会議等において検討を進める必要がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のつえ継続 III. 事業終了	II	「高津さんの市」などの取組が区民に定着化してきたことに加え、都市農業が見直されている昨今、農のあるまちづくりの重要性が高まっていることから、農業者や区民と協働しながら、より効果的な魅力発信に取組む。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	20	高津区総合ガイドマップ作成事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		高津区役所まちづくり推進部地域振興課			川田	861-3133(内64355)

事業の概要									
事業の概要		区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		H23年度	—						
地域の課題と現状		区民が安心して日常生活を送れるよう、区に関する基礎的な情報を身近に得られる環境を整える必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	915	906	1,155	917				
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	915	906	1,155	917				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が区に関する基礎的な情報を得て、安心して日常生活を送れるようにする。
今年度の事業の取組内容	区民意見を反映したガイドマップの作成・配付、効果的な広告募集方法の検討。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・ガイドマップの作成 25,000部 ・区内公共施設等17箇所、その他市内4ヶ所に配架。広告掲載10件(12枠)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	ガイドマップの作成	目標	25,000	25,000			部
				実績	25,000	25,000			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内転入者の増加などに伴い、区に関する基礎的な情報を提供することが引き続き求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		アンケート調査に基づき、従来サイズから小型化した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年、地図面や記載情報の更新があるため、ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	転入世帯以外にも配布希望があることから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	前年度の配布部数を検証することによる適正な作成部数の検討を継続して行う。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内施設の変更や掲載情報に関する調査や、市民アンケート等に基づく実現可能な変更などによる見直しを行う。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	25	高津区市政情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		桐ヶ谷	64121	

事業の概要									
<b>事業の概要</b>		高津区の区政情報を広く区民に周知するため、市政だよりなどの紙媒体だけでなく、インターネットなどさまざまな広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。ホームページの一部については、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を委託する。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		平成21年度		—					
<b>地域の課題と現状</b>		多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,379	1,256	861	209				
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,379	1,256	861	209				

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	さまざまな媒体を通じて、区政情報を広く区民に届けることを目的とする。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	(1)ホームページの一部について、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を行う。 (2)対象となる外部サイトについて、ウェブアクセシビリティ向上にむけた取組を行う。

実施結果 (Do)										
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
<b>取組内容の実績等</b>		(1)エコシティかつのホームページについて、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を行った。 (2)高津区ふるさとアーカイブホームページについて、JIS試験を実施した。※予算は「高津区ふるさとアーカイブ事業費」にてweb運用保守・更新作業と併せて実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	ホームページの更新	目標	1	1			回	
				実績	1	1				
	2	活動指標	ウェブアクセシビリティJIS試験に向けた改善	目標	1	1			式	
				実績	1	1				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		総務省「みんなの公共サイトガイドライン(2016年版)」により、これまで以上に高いレベルでウェブアクセシビリティを確保することが求められている。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		総務省「みんなの公共サイトガイドライン」で示された基準を達成するための取組を開始した。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		総務省「みんなの公共サイトガイドライン(2016年版)」により、これまで以上に高いレベルでウェブアクセシビリティを確保することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		エコシティかつ及びふるさとアーカイブのホームページについて適正に保守・更新作業を実施し、内容の充実を図るとともに、ふるさとアーカイブのホームページについては、JIS試験を実施して問題点を把握し、令和2年度以降の改善に向けて事業を進めている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		エコシティかつのホームページについては、更新対象コンテンツを精査することにより、執行事業費を削減したが、CMSへ移行することができれば、さらに現状の事業費を削減できる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 エコシティかつホームページについて、CMSへの移行の可能性を探りつつ、内容の充実を図るとともに、ふるさとアーカイブのウェブアクセシビリティの向上に向けて取り組んでいく。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	30	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			大北	64351

事業の概要												
<b>事業の概要</b>		円筒分水修景施設の軽易な清掃や植栽の手入れ、日常的な点検等について、地域住民を中心として組織された管理運営組織(久地円筒分水サポートクラブ)の活動を支援する。また、植栽の剪定など専門的な業務については、道路公園センターと連携を図りながら、専門業者に委託して実施する。										
<b>実施期間</b>		事業開始年度 平成22年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業				
<b>地域の課題と現状</b>		高津区久地に位置する二ヶ領用水久地円筒分水は、川崎市初の国登録有形文化財(建造物)であり、区のシンボリックな存在である。そこで、平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、区民と協働で良好な状態に保つとともに、地域コミュニティの場としてさらに活用し、地域の魅力づくりを進めていく。										
予決算 (単位:千円)	年度	財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
			事業費		534	453	510	480				
			国庫支出金									
	市債											
	その他特材											
	一般財源	534	453	510	480							

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態に保つ。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	(1) サポートクラブとの協働により、月1~2回、1時間程度の美化清掃活動等を実施する (2) サポートクラブのメンバー増員を目的に、一般区民を対象とした体験イベントの開催等を実施する (3) 維持管理に係る専門的な業務について、道路公園センターと連携を図りながら専門業者に委託して実施する

実施結果 (Do)									
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成      4. 目標を下回った 2. 目標を上回って達成          5. 目標を大きく下回った 3. ほぼ目標どおり						
<b>取組内容の実績等</b>		・サポートクラブとの協働による美化清掃活動等を実施 ・10周年記念誌の発行 ・市民ミュージアムによる史跡めぐりにおけるまち歩きガイドの実施、高津小学校での講演会および円筒分水ガイドの実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	サポートクラブとの協働による美化清掃活動	目標 17	17				回
	2	活動指標	一般区民を対象とした体験イベントの開催	目標 1	1				回
	3			目標					
	4			目標					

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		サポートクラブメンバーの高齢化が進んできている。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		平成28年度からサポートクラブの自主的な活動として、市公園緑地協会の助成金を活用した花植えプロジェクトをスタートするとともに、サポートクラブの新たなメンバーの確保を目的として、一般区民を対象とした美化活動体験イベントを開催している。令和元年度は美化活動体験イベントを契機として3名の新規メンバーが加入し、積水ハウス(株)から新規参加があった。	
評価項目		評価	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	高津区役所が区のシンボルとして河川占用している広場を適切に維持管理していくためには、引き続き区民との協働により効率的に事業を推進する必要がある。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	サポートクラブとの協働により効率的かつ効果的に広場を維持管理するとともに、サポートクラブが施設のガイド等を行うことで魅力も発信するなど、一定の成果があったと考えられる。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>b</b>
	評価の理由	サポートクラブがより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討するとともに、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。	

改善 (Action)		
<b>今後の事業の方向性</b>	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 今後もサポートクラブとの協働により広場を適切に維持管理するとともに、サポートクラブがより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討していく。また、専門的な維持管理については道路公園センターと協議しながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。		

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	35	高津区文化振興事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		堤	814-7603	

事業の概要										
事業の概要		高津区内の歴史的・文化的資源を中心に、区民が地域の魅力を再認識する機会を提供するとともに、その魅力を自ら発信するボランティアガイドを養成することで、ふるさと意識の醸成と文化都市・高津の創造を推進する。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費				
		平成21年度	—							
地域の課題と現状		高津区には、大山街道や市内初の国史跡橋樹官街遺跡群等、多くの歴史的・文化的資源が存在する。宅地化の進展等による人口増加傾向、転入者に占める子育て世代の割合の高さ、高い出生数等を踏まえ、まちの魅力、歴史や文化についての再認識を進め、次代に引き継ぐ取組を進める必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金	247	245	247	239				
		市債								
その他特材	9	9	9	4						
一般財源	238	236	247	239						

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区内の歴史的・文化的資源を活用し、区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	区民ボランティアガイドによる「高津のさんぽみちガイドツアー」を実施する。併せて、ボランティアガイドのスキルアップに向けた研修を本年開催する。令和元年度と2年度にわたって新規ガイドボランティア養成講座を実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・ボランティアガイドスキルアップ研修:4/26~1/24(10回)※2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・新規ガイドボランティア養成講座:10/11~2/14(全5回) ・高津のさんぽみちガイドツアー:「子母口・千年コース」11/29(金)、「諏訪・北見方コース」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(回数)	目標	3	2			回	
			実績	3	1				
	2 成果指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(参加者数)	目標	60	60			人	
			実績	75	20				
3 成果指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(満足度)	目標	80	80			%		
		実績	92	80					
4 活動指標	ボランティアへのアガイド研修の実施(回数)	目標	12	12			回		
		実績	12	12					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		ガイドツアーやガイド養成講座の参加を見ると、高津区内の歴史的・文化的資源に対して、多くの方々に興味をもって参加している。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 29年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成29年に養成講座を修了した区民ガイドボランティアによる「高津のさんぽみちガイド事業」への移行及びスキルアップに向けた研修の実施。	
必要性		えいく	評価
事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている
評価の理由		地域の歴史や文化の魅力の見直しや再発見し、区民自らにより次世代へ引き継ぐ取り組みが必要と考える。	
有効性		活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない
評価の理由		ガイドツアーでの高い満足度や多くのリピーターの存在などから一定の評価と成果があると考えます。	
効率性		事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある
評価の理由		実行委員会と協働で事業を行いながら、進め方や実施内容について調査や検討をしていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 「高津のさんぽみちガイドツアー」について引き続き実施していき、ガイドボランティアに必要な研修等を実施していきスキルアップを進めていく。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	40	大山街道周辺整備活性化事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		祝田	64356	

事業の概要											
事業の概要		大山街道のまちづくりに関心を持つ人が増えるよう、魅力的な空間創造と計画的かつ総合的な地域活性化のための取組を、高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用するため策定した高津大山街道マスタープランに基づき、大山街道アクションフォーラム(以下「AF」と表記)を中心に進める。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業			
		平成21年度		—							
地域の課題と現状		大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが課題である。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度			
		事業費		2,000		1,933		2,000		1,414	
		財源内訳	国庫支出金								
			市債								
			その他特材								
一般財源	2,000		1,933		2,000		1,414				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>AFの継続的な開催を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、AFの自立的な運営体制を確保する。</li> <li>大山街道沿道の施設や大山街道が通る他都市など周辺資源との連携により、回遊性ある魅力的なまちづくりを実現する。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>AFを企画、開催する(年2~3回)</li> <li>大山街道ふるさと館の多目的活用や新住民の参加促進に係るイベント等を企画・開催する。</li> <li>多世代交流を促進するイベントとして「二子の渡し」を前年度に引き続き実施する。</li> <li>沿道他地域と連携したイベントを企画・実施する。</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>大山街道は食で起業する人を応援する「街道」という目標を運営委員会で掲げ、食のイベントや、起業をテーマにした座談会や角打ちの企画などを行った。</li> <li>食を活用したイベントとして、「大山街道ハンゴめし〜こだわりのいっぴん市〜」(9月28日約3,000名来場)、「大山街道カレーフェスタ」(11月10日約3,000名来場)を開催。</li> <li>座談会として「大山街道で語らNight」を企画</li> <li>世田谷・高津ウォーキングを2日間開催(10月9日・10月16日は中止)</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
		1	活動指標 大山街道アクションフォーラム(開催回数)	目標 3 実績 3	3	2			回
		2	成果指標 世田谷・高津ウォーキング(参加人数)	目標 20 実績 43	20	41			人
		3	成果指標 二子の渡し(参加人数)	目標 450 実績 700	450	中止			人
		4		目標 実績					

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		今年度、伊勢原市で「大山詣」が日本文化遺産に認定されたことから、大山街道は注目を集めている。その大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが求められている。							
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 25 年度		□ 今後実施( 年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		以前はコンサルタントに事業を委託していたが、現在は沿道の住民や企業などで組織されている「大山街道アクションフォーラム運営委員会」でイベントなどを企画・運営しており、住民のニーズにあったイベントを住民の協力の行われるようになった。							
評価項目							評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている	a	
	評価の理由		大山の文化的価値が再認識されており、事業に対するニーズは高まっている。また、人口の増加に伴い、交流の活性化が求められている。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない	a	
	評価の理由		昨年度同様イベントの参加人数は多く、住民の交流を促進している。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか						a. 可能性はない b. 可能性はある	b	
	評価の理由		運営委員会の委員を増やし、多様な意見を反映できるようにする。						

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	大山街道の活性化に向けて、「食」を活用したイベントの開催を2回実施するなど、アクションフォーラム運営委員とともに、新たな取り組みを行った。今後についても、引き続き運営委員会が中心となり、大山街道だけでなくその周辺地域も活性化しよう取組を推進していく。

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	45	高津区地域資源ネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		原	64123	

事業の概要									
事業の概要		区内の地域資源を活かした魅力的なまちづくりを推進するため、平成23年度策定の「高津区公共サイン整備指針」に基づき、高津のさんぼみちのサイン整備及びガイドマップの制作を行う。また、広告収入を活用した維持管理手法の社会実験を推進しながら、区内の既存サインの改善を進める。							
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		高津区の歴史・文化・自然などの地域資源を結び既存の高津のさんぼみち(6コース)については、案内がない、経路が複雑、詳細なガイドマップがない等といった課題があった。また、コースが設定されていない地域もある。溝口駅南口広場整備にあわせて総合案内板が新たに整備される一方で、既存公共サインは表示内容が古い、デザインが統一されていない等の課題がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,038	2,952	2,724	2,277				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材	388	388	388	392				
	一般財源	2,650	2,564	2,336	1,885				

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の歴史・文化・自然などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	(1) 高津のさんぼみち「大山街道コース」のガイドマップ作成 (2) 高津のさんぼみち「円筒分水と久地不動尊コース」におけるウォーキングイベントの開催 (3) 既存公共サインの表示内容の更新

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>高津のさんぼみち「大山街道コース」のガイドマップ作成(3,000部)</li> <li>高津のさんぼみちウォーキングイベントの開催(令和元年東日本台風の影響により急遽中止)</li> <li>高津のさんぼみち既存案内板の表示内容の更新</li> <li>溝口駅南口広場総合案内板への広告掲載事業の推進(本格実施)</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	高津のさんぼみちガイドマップの作成	目標	3,000	3,000			部	
				実績	3,000	3,000				
	2	活動指標	高津のさんぼみちウォーキングイベントの開催	目標	1	1			回	
				実績	1	0				
	3	成果指標	高津のさんぼみち道標設置	目標	3				箇所	
				実績	3					
	4	成果指標	既存公共サインの改善	目標	1	1			箇所	
実績				1	1					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組が全国的に進んできている。東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められている。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 1 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		平成28年度に設置された溝口駅南口広場総合案内板に民間広告を掲載する事業を社会実験として実施していたが、有効な手法と判断できたため、本格実施として継続して事業化することとした。これにより、広告事業者の負担による当該案内板の維持管理を安定的に行うとともに、広告掲載料を区内既存公共サインの維持管理費用に充当する。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められており、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高津のさんぼみちについては、他事業のイベント等で利用されるなど、成果は上がっていると考えられる。また、公共サインの改善についても、財源を独自に確保することで安定して進めることができています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験の効果等を検証し、本格実施を行うこととした。今後は、当該事業の区内他地区への拡大等更なる見直しを進める。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 高津のさんぼみちについては、ガイドマップ発行等を踏まえたさらなる活用について検討していくことが必要であると考えられる。また、公共サインの改善については、広告掲載事業の本格実施を行うが、事業の拡大等更なる検討を進める必要があると考えられる。		

# 令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	50	高津区ふるさとアーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課			大橋	64121

事業の概要										
事業の概要		高津のまちに関する資料(写真・刊行物等)の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用あり方を定めた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に基づき、高津区全体の社会的資産としてこれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域ブランディングを進める。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源事業費					
		平成24年度	—							
地域の課題と現状		高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。それらの散逸する資料を高津区全体の社会的資産と捉え、収集・整理・保存するとともに、市民・各種団体・行政等さまざまな主体が活用することが求められている。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,360	1,599	2,542	1,634					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財		43	22	46	30					
	一般財源	2,317	1,577	2,496	1,604					

計画 (Plan)	
事業の目的	デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用し、高津区の写真を継続的に収集・保存するとともに、収集した写真の公開・活用を促進する。
今年度の事業の取組内容	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトの運用 (2) 古写真を活用したワークショップ等の開催 (3) 平成24年度に発行した区制40周年記念誌の販売 (4) 写真展の開催

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用 (2) 高津区ふるさとアーカイブワークショップを開催 日時: 令和元年11月2日(土)、場所: 久本小学校体育館、参加者: 26人、内容: 昔の遊び体験、昔の写真に写っている現在の場所探しなど (3) 区制40周年記念誌を36冊販売 (4) イトーヨーカドー溝ノ口店・高津図書館と連携し、古写真を活用した写真展を開催。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	ワークショップの開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2	活動指標	記念誌の販売	目標	50	30			冊
				実績	27	36			
3	活動指標	おはなしアーカイブを活用したイベントの実施	目標		1			回	
			実績		1				
4	活動指標	写真展の開催	目標	2	2			回	
			実績	2	3				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	スマートフォンアプリ「たかつぶらり」の機能・内容をふるさとアーカイブHPへ移行させ、より多くの人が「たかつぶらり」の機能・内容を活用できるよう改善を行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、それらの散逸する資料を収集・整理・保存・活用することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ワークショップでは多世代交流により、まちの記憶の共有を促進できた。また、区制40周年記念誌は現在も年間36冊もの売り上げがある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高津区の歴史やアーカイブに関する知識を持つ市民団体等との協働・連携を進めたり、写真展やイベント等の業務について内容を精査して委託をすることで、事業をより効果的・効率的に進めることができる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II